

第一次大戦中 バルト海で沈んだ船からコニャック600本



11月8日（金）、第一次大戦中にバルト海で沈んだ船キロス（Kyros）から、コニャックなど数百本がスウェーデンの企業により発見されました。

ロシア帝国向けのコニャックを運ぶ船 ドイツ潜水艦が撃沈

「海中に沈む秘宝」の搜索を専門にするオーシャンX社は、バルト海に沈む船キロスから、コニャック（cognac）600本およびベネディクティン（Bénédictine）と呼ばれるフランス産リキュール300本を発見しました。

Stor spritskatt bärgad i Ålands hav - <https://t.co/pQny0IAeWY>
<https://t.co/OwM64LVD8d> #balticsea #cognac #östersjön #oceanx #oceanxteam
#sverige #nyheter #dykning #DN #åland #sprit #Benedictine #Bacardi #liqueur

— Ocean x Team (@OceanXteam) [4 novembre 2019](#)

沈没した1917年当時、キロスはロシア帝国向けの商材を積み、オーランド諸島 (l'île d'Åland) 沿岸をフィンランド本土に向けて航行中でしたが、ドイツの潜水艦に撃沈されました。乗組員はボートでスウェーデンの海岸にたどり着き無事でした。

発見されたコニャックは、今は存在しないドウ・アートマン (De Haartman) 社により製造されたものです。

ベネディクティンはブランデーに27種類の薬草や香草を混ぜて作られる蒸留酒 (リキュール) で、1510年にフランス北部ノルマンディー地方のフェカン (Fécamp) にある《ベネディクト派修道院》によって最初に作られたことからこの名前が付けられており、こちらは現在もバカルディ・マルティニ・フランス (Bacardi-Martini France) 社で製造されています。

100年前のコニャック 今でも飲める？

今回発見された数百本のボトルは、研究所にて今でも飲めるかどうか分析中ですが、オーシャンX社の搜索責任者ペーター・リンドベルグ (Peter Lindberg) 氏は、「バルト海は水温が低く薄暗いため、アルコールを長期間保存するには好条件だ」と語っています。

計画から20年 引き上げは難航

キロスの「秘宝」の搜索は20年前に計画されました。海中77メートルに沈む難破船は、発見当時漁師の網などが絡まっていたため、リンドベルグ氏率いる潜水夫たちの作業は難航し、最終的には遠隔操作が可能な小型潜水艦の導入を外部業者に依頼する必要がありました。

苦労して引き揚げた100年前のコニャック、どんな味がするのでしょうか？

執筆：マダム・カトウ

オンラインフランス語学校

ENSEMBLE EN FRANÇAIS

アンサンブルアンフランセ

オンラインフランス語学校アンサンブルアンフランセは、プロの講師によるマンツーマンのスカイプレッスンが1回1500円～受講できます。いつでもどこでも手軽に受講できる利便性と生徒一人一人にカスタマイズされた質の高いレッスンが好評です。

